

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 徳島大学大学院
名誉教授 坂東 永一 先生
2. 演 題 咬合学を発展させるために
3. 日 時 平成29年11月9日(木)17:00～18:00
4. 場 所 7号館(歯学部校舎棟)1階 第1講義室
5. 要 旨

歯科補綴学は長年にわたり下顎運動に協調した咬合面形態を探し求めてきた。しかし、主機能部位や顎機能制御系などの知見から、顎運動は咬合負荷に対する反射の影響を大きく受けることが分かった。そうであるなら、咬合は望ましい顎運動に繋がるものでなくてはならない。口が開かないよりは開く方が良い、顎が横に動かないよりは動く方が良い。

有害な咬合接触を除去することは重要なことであるが、必要なのに欠如している咬合接触を付与することも重要である。

心の健康のために咬合診断をする日が将来くるかもしれないが、先ずは円滑な顎機能に必要な咬合の要件を明らかにすることに努めようではないか。

連絡先: 三浦 宏之(岡田 大蔵)(摂食機能保存学分野 内線5521)